

体育祭

6月6日（木）、晴天の下、令和6年度体育祭を実施しました。

今年度は、県立五泉特別支援学校村松分校と同日開催とし、開会式と交流種目を合同で行いました。開会式の校旗掲揚では、両校の校旗を揚げ、校長挨拶、生徒代表挨拶では、両校の校長、代表生徒が挨拶をしました。村松高校の傳田校長からは、「①仲間同士協力して楽しんでほしい、②勝負には勝敗がつきものだが、競技後は勝っても負けても、健闘を称えてほしい、③熱中症や怪我・事故に注意しよう」と3つの話がありました。そして、村松高校の生徒会長からは「天候にも恵まれ、体育祭ができる。準備に携わった生徒、先生方ありがとうございます。今年のテーマ「獅子博兎（ししはくと）」はどんなことにも全力を尽くすことだが、交流を深め、全力を尽くして思い出の残る体育祭にしよう」と話がありました。

交流種目は「大玉ころがし」でした。村松高校の生徒と村松分校の生徒が協力して大玉を転がし、早さを競いました。応援席や観客の皆様からのあたたかい声援を受けながら、共に楽しむことができました。

その後、村松分校は第2体育館に移動し、村松高校はグラウンドで体育祭の競技開始となりました。各学年が赤軍と青軍の二軍にわかれて、競い合いました。障害物レース、綱引き、大玉送り、借り人レース、軍団対抗リレーと接戦が続き、盛り上がりを見せました。

笑顔がたくさん見られ、思い出に残る一日になったことと思います。

